

---

# すばる文学賞?

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
すばる文学賞？

【コード】  
N0876Q

【作者名】  
ごほんライズ

【あらすじ】  
まあひとまず応募してみようと思っ。

飯田橋聡いいたばしさとしは、長く「小説家になろう」で書いていたが、そろそろ  
新人賞に応募しようと思う。

候補は三つあった。

野生時代フロンティア文学賞。賞金が三百万。高い方だ。それに、「野心作を求む」みたいなノリが聡の資質に合う。バリバリ、エンタメ系。

新潮新人賞。尊敬する町田康が審査員を務めていた。バリバリ、文学系。

ラストが、すばる文学賞。エンタメ寄りの文学を募集している。聡は「エンタメする文学」「文学するエンタメ」を目指している。

一番資質に合う。あと、複雑混迷な現代を生きる若者の葛藤を描く小説を求めているようで、聡はこれにも共鳴した。

当たり前であるが、聡はすばる文学賞を選んだ。

野生時代は映像化を視野に入れている。現在の聡の作風はややブラックなので映像化が少し無理かなあと思ったので断念。

新潮新人賞は前述の通り、町田康が審査員を下りたので断念した。いずれにせよ、聡にとってエンタメは軽すぎ、文学は重すぎる。すばる新人賞が重量的にちょうどよい。

ただ聡には悩みがあった。新人賞というのはだいたい長編を募集している。別に聡は長編を書くのが嫌いではない。むしろ、書くのは楽しい。

しかし、それ以上に短編を書くのが大好きである。

これは聡がギャグを専門としているからであろう。無論、笑ってはいけないシリーズやチャプリン映画が世にあるように長編ギャグでもよい。ただやはり、漫才や落語、コント、ギャグ漫画、といった短編がギャグの王道である。

まあデビューしてから書かせてもらおうかなあと思う。短編を募

集してる賞も探そうと思った。

もちろん、「小説家になろう」でも精力的に活動しようと思う。プロになっても続けたい。カネ以外の利益がある。

聡は、十枚くらい書いたあと、気分転換に銭湯へ行った。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0876q/>

---

すばる文学賞?

2011年1月16日05時19分発行